

1. 建設投資の概況

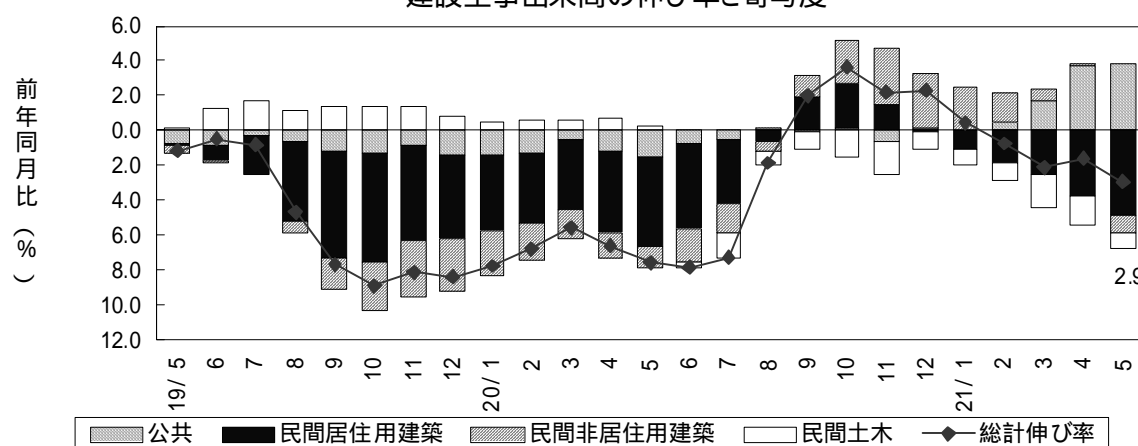
(1) 建設工事出来高

5月の建設工事出来高は、全体で3兆3,053億円と前年同月比2.9%減少した。

公共は、建築が1,892億円（前年同月比20.0%増）土木が8,552億円（同13.1%増）となり、全体では1兆444億円（同14.3%増）となった。

民間は、建築が1兆7,943億円（前年同月比9.9%減）、土木が4,666億円（同6.4%減）となり、全体では2兆2,609億円（同9.2%減）となった。

建設工事出来高の伸び率と寄与度



(単位：億円)

区分	年度年月	総計	民間	建築		土木	公共
				居住用	非居住用		
年	18年度	528,833	353,226	289,561	195,441	94,119	175,608
	19	500,514	330,587	261,618	176,043	85,575	169,927
	20	491,749	322,516	258,227	168,924	89,302	169,232
月	21年2月	40,233	24,498	19,392	12,388	7,003	15,735
	3	44,191	26,156	19,939	12,685	7,254	18,035
	4	37,603	23,429	18,501	11,738	6,763	14,174
	5	33,053	22,609	17,943	11,496	6,447	10,444

(前年比・%)

年	18年度	1.4	4.3	3.9	3.7	4.3	6.2	11.0	
	19	5.4	6.4	9.6	9.9	9.1	8.3	3.2	
	20	1.8	2.4	1.3	4.0	4.4	6.8	0.4	
月	20年5月	7.6	8.2	10.4	12.6	5.9	2.1	5.8	
	6	7.8	9.6	11.3	12.2	9.6	1.9	2.9	
	7	7.3	9.2	9.1	9.4	8.4	9.7	1.9	
	8	1.8	2.9	2.0	1.7	2.6	6.5	0.6	
	9	2.0	3.1	5.9	5.6	6.5	7.5	0.2	
	10	3.6	5.6	10.3	8.0	15.0	11.4	0.3	
	11	2.2	4.7	9.8	4.6	21.3	13.3	1.7	
	12	2.3	3.5	6.5	0.2	21.7	7.1	0.4	
	次	21年1月	0.5	0.8	2.9	3.4	16.6	6.9	0.0
		2	0.7	2.0	0.5	5.7	10.3	7.3	1.3
		3	2.1	6.2	4.1	8.1	3.9	12.6	4.5
		4	1.6	8.1	7.2	11.0	0.1	11.2	11.3
5		2.9	9.2	9.9	12.6	4.7	6.4	14.3	
累計	4月~5月	2.2	8.6	8.6	11.8	2.3	8.9	12.6	

資料：国土交通省「建設総合統計」

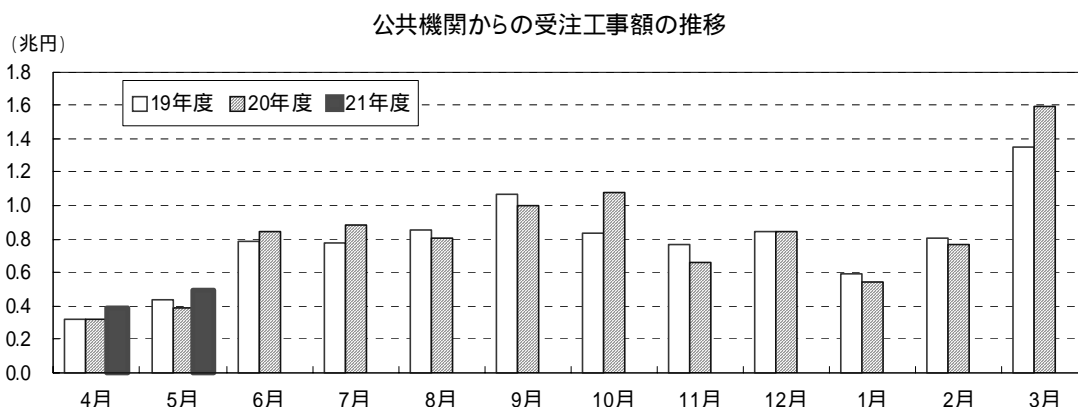
(2) 公共機関からの受注工事

5月の公共機関からの受注工事額（1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は4,961億円で、前年同月比27.5%増加（3ヶ月連続）した。うち国の機関からは2,057億円で同64.0%増加（3ヶ月連続）地方の機関からは2,904億円で同10.1%増加（2ヶ月ぶり）した。

工事分類別でみると、港湾・空港（前年同月比250.7%増、寄与度+11.9）道路（同35.6%増、寄与度+9.2）等が増加し、公園（同63.8%減、寄与度-2.7）住宅・宿舍（同32.6%減、寄与度-1.5）等が減少した。

さらに、発注機関・工事分類別でみると、国の港湾・空港（寄与度+12.9）政府関連企業等の道路（寄与度+9.3）等のプラスの寄与度が大きい。

5月の大手50社調査では、公共工事は前年同月比2.9%減少（3ヶ月ぶり）した。



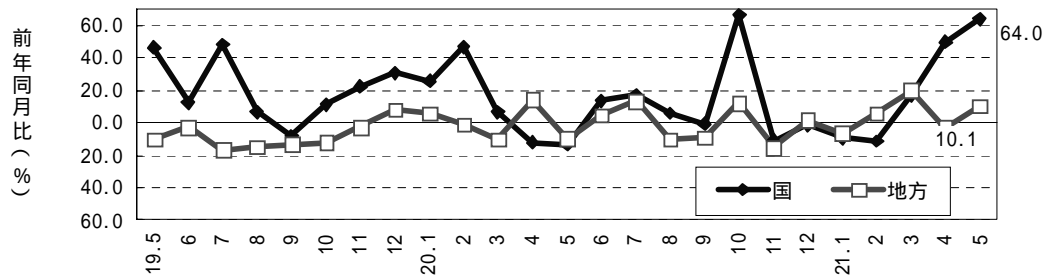
公共機関からの受注工事額（前年比・%）

区分	年度年月	総計	国の機関				地方の機関					
			小計	国	独立行政法人	政府関連企業等	小計	都道府県	市区町村	地方公営企業	その他	
								府	町	企業		
年	18年度	12.8	10.0	3.6	-	-	14.2	15.2	12.8	16.9	13.8	
度	19	0.5	16.9	8.7	50.1	18.6	8.0	2.8	11.4	2.5	33.5	
	20	3.3	6.5	7.9	8.6	13.6	1.2	0.8	2.2	1.2	14.0	
月	20年5月	11.1	13.8	26.1	41.4	37.6	9.7	37.4	1.5	40.6	3.7	
	6	7.1	13.5	35.2	22.1	109.9	4.5	9.9	0.1	5.4	24.2	
	7	14.7	17.0	21.1	5.4	19.6	13.5	6.5	22.5	14.7	55.4	
	8	5.4	5.8	9.6	26.6	32.9	10.3	9.2	1.7	42.4	27.2	
	9	6.4	0.9	2.1	7.0	9.8	9.0	4.9	4.7	33.7	38.6	
	10	29.2	66.4	45.3	43.5	114.2	12.2	19.2	5.8	15.1	12.2	
	11	13.9	10.9	0.5	5.3	29.1	15.3	5.4	20.5	37.9	36.9	
	12	0.5	1.5	21.0	18.0	19.6	1.7	11.5	5.6	61.0	14.5	
	次	21年1月	7.6	9.3	11.8	2.3	8.8	6.5	10.7	7.9	32.0	13.1
		2	4.9	11.4	8.5	22.9	6.7	5.7	2.2	8.4	6.0	98.3
	3	18.1	16.8	27.4	5.7	0.4	19.8	19.0	11.6	43.4	74.2	
	4	21.8	50.0	68.3	34.2	29.3	3.2	31.8	4.4	24.4	56.4	
	5	27.5	64.0	50.0	18.1	107.9	10.1	36.6	16.4	37.2	47.1	
累計	4月～5月	24.9	56.3	59.6	26.4	61.5	4.9	34.5	9.9	30.7	51.7	

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計」

注）平成17年10月より「政府関連企業等」から「独立行政法人」へ移行した法人が存在することから、「独立行政法人」と「政府関連企業等」の平成18年度の前年比は計算できない。

発注機関別受注工事額の伸び率



政府建設投資関連指標

(単位:億円)

	公共機関からの受注工事				公共工事 請負金額()	出来高 (総合統計)	公的固定 資本形成
	総計	(国の機関)	(地方の機関)	大手50社			
19年度	94,329	37,381	56,948	21,031	117,818	169,927	203,609
20	97,405	39,793	57,612	25,977	117,951	169,232	200,910
20年 期	15,555	5,386	10,170	4,045	28,444	31,682	37,753
	26,965	9,034	17,932	5,223	33,180	36,741	44,764
	25,897	9,567	16,329	6,590	27,990	52,157	61,670
21年 期	28,988	15,807	13,181	10,119	28,338	48,651	56,724
	8,457	2,923	5,535	2,315	7,850	18,808	
	5,432	2,138	3,295	1,248	6,019	14,881	
2	7,658	4,424	3,234	2,476	6,349	15,735	
3	15,898	9,245	6,653	6,394	15,969	18,035	
4	3,927	2,270	1,656	856	13,288	14,174	
5	4,961	2,057	2,904	815	7,866	10,444	

(前年比・%)

	公共機関からの受注工事				公共工事 請負金額()	出来高 (総合統計)	公的固定 資本形成
	総計	(国の機関)	(地方の機関)	大手50社			
19年度	0.5	16.9	8.0	0.8	4.1	3.2	4.1
20	3.3	6.5	1.2	23.5	0.1	0.4	1.3
20年 期	0.5	1.9	1.8	17.4	8.4	4.1	4.2
	0.1	6.5	3.1	30.7	4.7	0.4	0.9
	5.8	17.4	0.0	58.3	2.8	0.3	1.3
21年 期	5.8	3.6	8.6	7.3	7.8	2.1	0.3
	11.1	13.8	9.7	12.7	9.6	5.8	
	7.1	13.5	4.5	44.0	11.3	2.9	
7	14.7	17.0	13.5	93.9	13.8	1.9	
8	5.4	5.8	10.3	14.0	6.0	0.6	
9	6.4	0.9	9.0	2.7	5.5	0.2	
10	29.2	66.4	12.2	242.0	0.4	0.3	
11	13.9	10.9	15.3	3.9	2.8	1.7	
12	0.5	1.5	1.7	11.9	6.4	0.4	
21年1月	7.6	9.3	6.5	26.0	1.9	0.0	
2	4.9	11.4	5.7	26.5	2.8	1.3	
3	18.1	16.8	19.8	46.3	15.3	4.5	
4	21.8	50.0	3.2	12.8	20.5	11.3	
5	27.5	64.0	10.1	2.9	2.5	14.3	
4月～5月	24.9	56.3	4.9	4.5	13.1	12.6	

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計」「建設総合統計」、内閣府「四半期別GDP速報」

北海道建設業信用保証(株)・東日本建設業保証(株)・西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」

注) 公的固定資本形成は、名目、原系列値。

() 公共機関からの受注工事が請負契約時点ベースでの請負契約の全体額を計上しているのに対し、公共工事請負金額は前払保証契約時点ベースでの前払保証の対象となる請負金額を計上している等の理由により、必ずしも両者の傾向は一致しない。

(3) 住宅

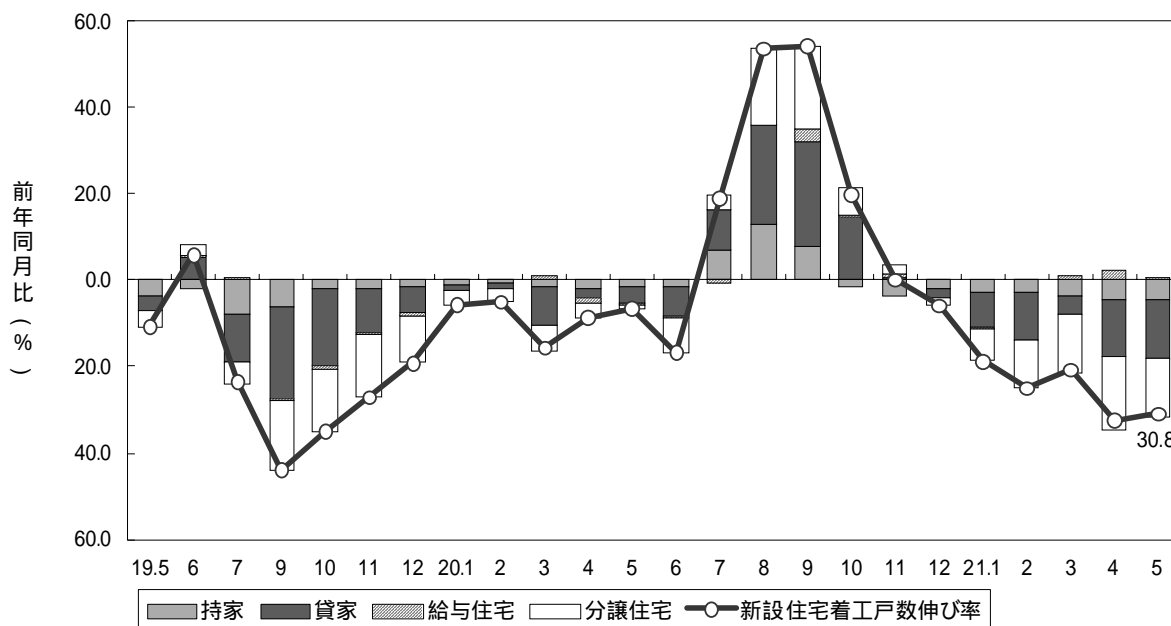
5月の着工は62,805戸。前年同月比でみると、持家、貸家、分譲住宅がともに減少したため、全体で30.8%減少(6ヶ月連続)となった。

季節調整済年率換算値の推移をみると、平成20年1-3月期1,129千戸(前期比14.1%増)4-6月期1,115千戸(同1.2%減)7-9月期1,102千戸(同1.2%減)10-12月期1,031千戸(同6.4%減)平成21年1-3月期887千戸(同14.0%減)4月779千戸(前月比12.3%減)5月758千戸(同2.7%減)となった。

新設住宅着工戸数(戸、前年比・%)

区分		総戸数	総計	持家	貸家	分譲住宅	マンション	季節調整済 年率換算値 総戸数 (千戸)
年度年月								
年	18年度	1,285,246	2.9	0.9	3.9	3.3	4.8	
	19	1,035,598	19.4	12.3	19.9	26.1	34.0	
	20	1,039,180	0.3	0.4	3.2	3.5	3.1	
月	20年5月	90,804	6.5	5.7	8.6	3.1	4.0	1,095
	6	100,929	16.7	6.6	15.1	27.2	36.5	1,109
	7	97,212	19.0	23.1	22.7	12.7	15.9	1,097
	8	96,905	53.6	35.6	59.6	73.7	128.8	1,098
	9	97,184	54.2	19.9	66.9	82.8	217.6	1,109
	10	92,123	19.8	4.3	35.4	28.9	96.3	1,044
	11	84,277	0.0	11.7	1.7	11.0	43.3	986
	12	82,197	5.8	7.3	4.1	7.5	5.0	1,001
	21年1月	70,688	18.7	10.8	18.4	26.4	25.1	957
	2	62,303	24.9	9.9	28.5	34.4	35.6	866
	3	66,628	20.7	13.1	11.2	42.1	47.8	888
	4	66,198	32.4	15.8	33.0	54.3	65.9	779
5	62,805	30.8	14.9	33.3	48.1	60.3	758	

新設住宅着工戸数の伸び率と利用関係別寄与度



資料:国土交通省「建築着工統計」

<持家>

5月の着工は 23,139 戸。すべての地域で減少し、全体では前年同月比 14.9%減少(8ヶ月連続)した。

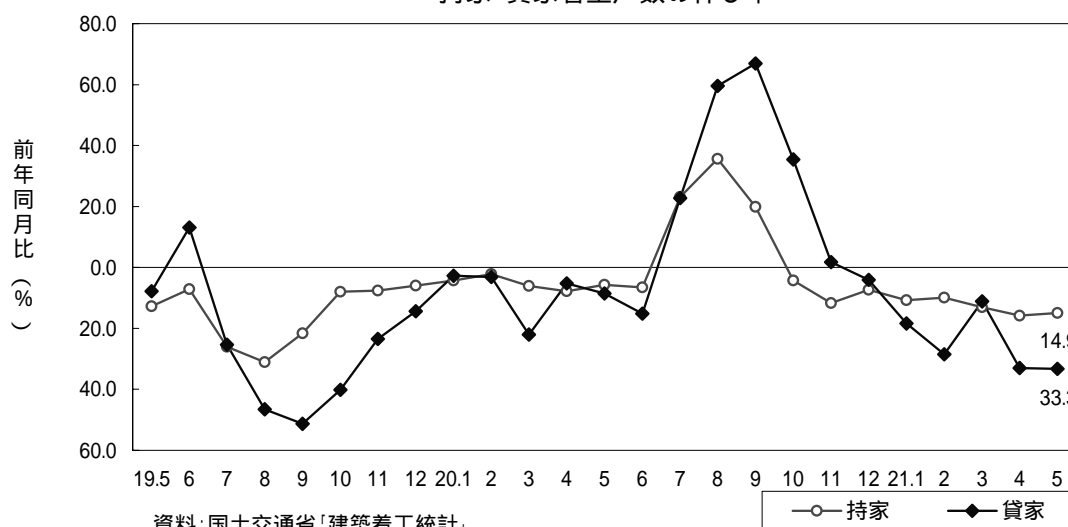
<貸家>

5月の着工は 25,167 戸。北陸及び沖縄では増加、その他の地域では減少し、全体では前年同月比 33.3%減少(6ヶ月連続)した。

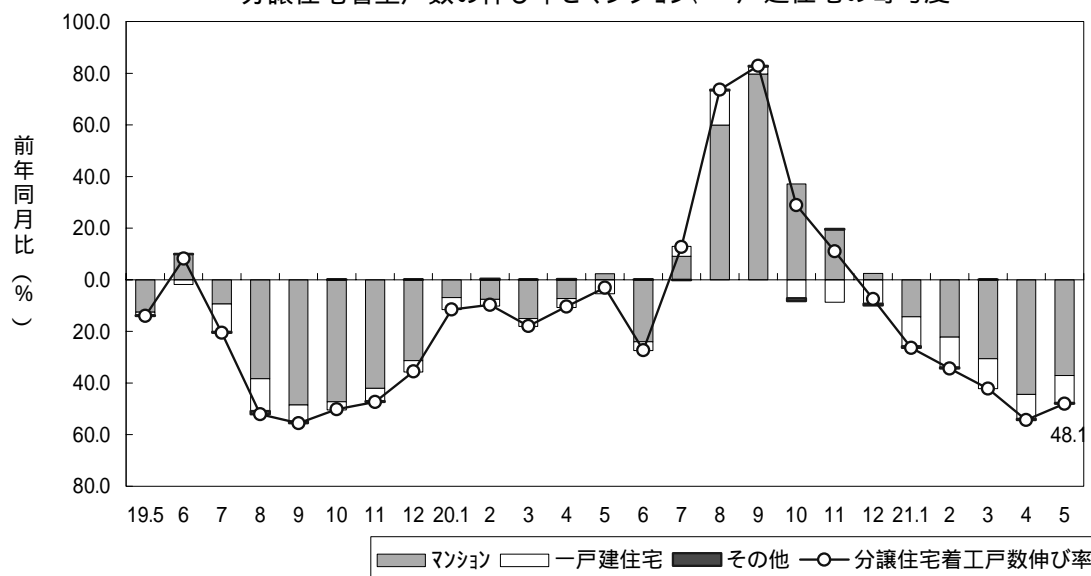
<分譲>

5月の着工は 13,066 戸。北陸及び沖縄では増加、その他の地域では減少し、全体では前年同月比 48.1%減少(6ヶ月連続)した。マンションは 6,130 戸で、首都圏は減少(3,120 戸、前年同月比 66.3%減、5ヶ月連続)、中部圏は減少(866 戸、同 35.0%減、2ヶ月連続)、近畿圏は減少(1,224 戸、同 28.8%減、6ヶ月連続)、その他の地域は減少(920 戸、同 70.8%減、5ヶ月連続)し、全体では同 60.3%減少(5ヶ月連続)した。一戸建住宅は6,888 戸で、同 27.9%減少(8ヶ月連続)した。

持家・貸家着工戸数の伸び率



分譲住宅着工戸数の伸び率とマンション、一戸建住宅の寄与度

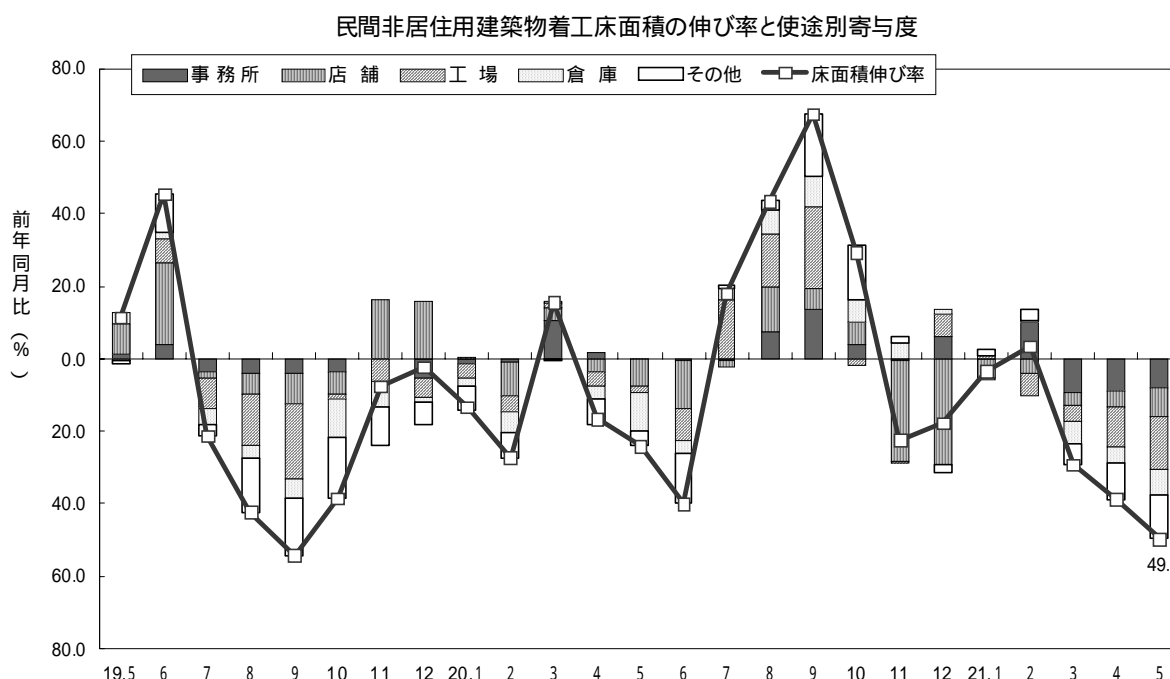


(4) 民間非居住建築

5月の着工床面積は248万㎡で、前年同月比49.7%減少(3ヶ月連続)した。

着工床面積を用途別にみると、事務所は30万㎡で前年同月比57.6%減少(3ヶ月連続)、店舗は42万㎡で同48.1%減少(7ヶ月連続)、工場は47万㎡で同60.3%減少(4ヶ月連続)、倉庫は34万㎡で同51.1%減少(3ヶ月連続)した。

日本銀行「全国企業短期経済観測調査(平成21年6月実施)」で平成21年度の設備投資計画をみると、製造業(大企業)は前年度比24.3%減少(平成20年度前年度比7.2%減少)となり、非製造業(大企業)は同0.8%減少(平成20年度同6.2%減少)となった。また、全産業(大企業)の生産・営業用設備判断DI(過剰-不足)をみると、「最近」は22、「先行き」は18となり、設備過剰感は大幅に高まっている。



区分		床面積					工事費予定額					
		総計	事務所	店舗	工場	倉庫	総計	事務所	店舗	工場	倉庫	
年	18年度	0.6	2.5	9.5	8.8	8.9	3.2	2.1	3.1	10.3	17.4	
	19	12.2	5.2	14.9	21.9	19.1	8.3	3.2	13.6	15.1	13.4	
	20	7.6	14.8	36.3	4.7	4.6	11.7	33.3	24.9	35.2	13.9	
月	20年5月	24.1	0.3	37.8	9.5	49.7	3.7	6.4	17.8	4.8	27.9	
	6	40.0	7.6	49.5	41.9	29.1	33.6	4.9	44.6	26.6	13.4	
	7	18.0	6.6	7.8	81.3	20.3	76.9	16.1	1.6	336.4	13.0	
	8	43.5	75.7	107.1	77.6	32.6	64.0	88.4	169.5	109.2	96.2	
	9	67.6	137.9	35.7	149.6	52.0	65.9	115.7	48.7	165.4	72.6	
	10	29.4	34.3	52.4	5.8	75.0	36.0	58.1	106.0	8.8	97.0	
	11	22.4	6.5	71.8	1.7	66.4	7.9	27.2	64.2	5.4	61.1	
	12	17.7	74.3	77.5	33.7	13.8	8.0	117.5	70.2	62.3	26.5	
	次	21年1月	3.5	0.2	24.8	4.8	3.3	17.1	18.3	25.7	50.6	8.0
		2	3.3	72.8	25.3	24.6	5.2	36.7	121.6	21.4	17.4	21.7
		3	29.2	46.3	20.4	20.4	51.0	24.8	37.3	13.6	38.5	45.4
		4	38.8	48.0	30.3	48.8	34.8	31.3	38.1	18.9	41.5	39.7
5		49.7	57.6	48.1	60.3	51.1	50.8	54.4	47.4	52.6	59.0	
累計	4月~5月	44.4	52.3	40.1	54.9	43.5	41.8	44.8	36.0	47.4	51.3	

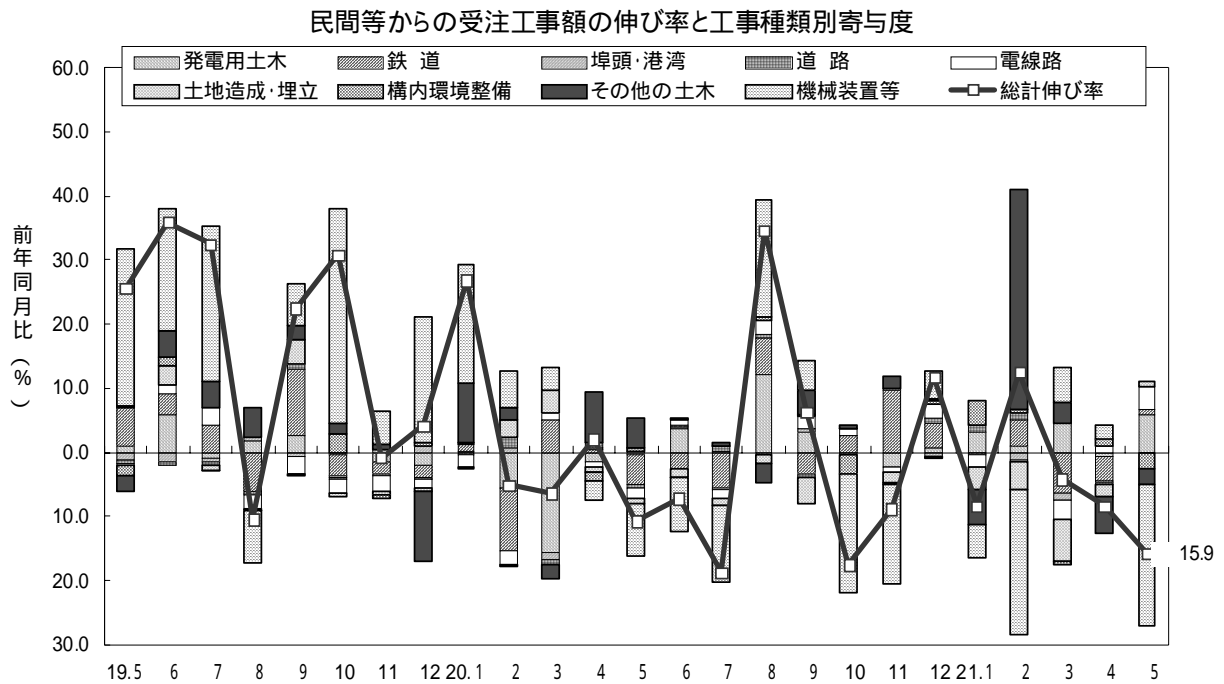
資料：国土交通省「建築着工統計」

(5) 民間等からの受注工事 (土木工事及び機械装置等工事)

5月の土木工事及び機械装置等工事の受注工事額 (1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。) は2,235億円で、前年同月比15.9%減少 (3ヶ月連続) した。

発注者別で見ると、鉱業、採石業、砂利採取業、建設業 (前年同月比279.5%増、寄与度+4.9)、情報通信業 (同40.1%増、寄与度+3.1) 等が増加し、製造業 (同45.9%減、寄与度-14.5)、電気・ガス・熱供給・水道業 (同36.4%減、寄与度-9.6) 等が減少した。

工事種類別で見ると、発電用土木工事 (寄与度+5.9)、電線路工事 (寄与度+3.4) 等が増加し、機械装置等工事 (寄与度-21.9)、構内環境整備工事 (寄与度-2.5) 等が減少した。

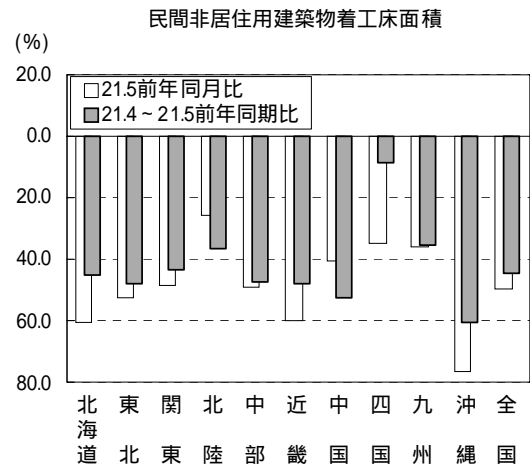
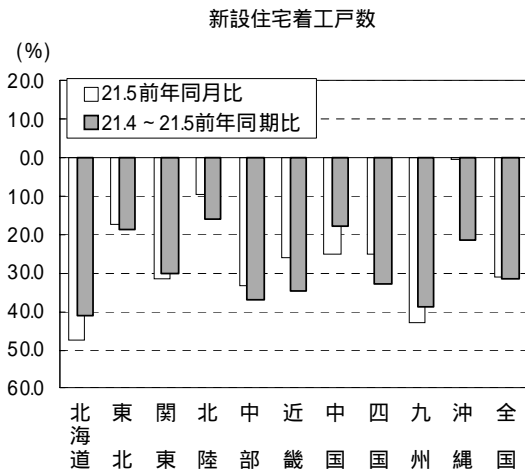
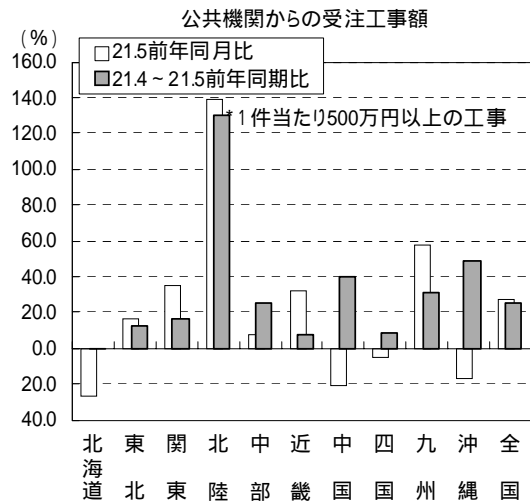
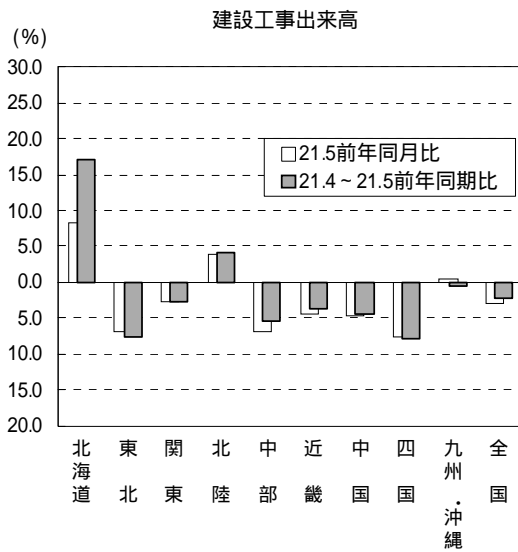


(前年比・%)

区分		総計	発電用土木	鉄道	埠頭・港湾	道路	電線路	土地造成・埋立	構内環境整備	機械装置等
年度	18年度	13.5	110.9	32.2	1.0	1.0	17.6	24.4	25.1	10.6
	19	12.5	39.8	7.7	23.0	9.7	7.2	18.1	3.1	35.1
	20	1.7	68.8	1.7	22.9	21.3	2.0	30.3	0.8	11.4
月	20年5月	10.7	13.5	28.2	20.1	40.5	18.9	10.8	23.0	16.9
	6	7.3	63.2	18.4	47.3	5.7	8.6	13.8	2.0	21.5
	7	18.7	24.4	39.8	67.4	90.3	7.1	25.1	2.2	27.7
	8	34.6	331.6	36.4	22.0	41.2	21.9	17.7	15.2	46.3
	9	6.3	48.9	15.1	91.0	28.6	29.2	44.2	7.3	13.1
	10	17.5	5.2	27.4	3.8	21.4	11.6	3.4	57.4	31.8
	11	8.8	47.6	86.5	11.7	46.0	9.6	19.2	16.4	31.7
	12	11.7	34.1	27.2	32.9	68.4	27.0	3.6	14.9	8.5
次	21年1月	8.4	291.5	0.6	36.1	118.4	15.1	59.9	163.5	12.2
	2	12.5	90.1	29.0	80.1	39.5	5.3	50.3	26.0	47.2
	3	4.2	238.6	22.3	70.7	11.5	38.6	60.6	24.1	16.5
	4	8.4	21.0	23.0	3.5	24.9	6.4	24.5	40.9	6.5
	5	15.9	243.2	6.7	4.7	11.9	41.1	15.5	61.4	48.6
累計	4月～5月	12.2	99.5	10.0	3.8	20.4	19.1	4.7	19.0	25.8

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計」

(6) 地域別動向



区分	出来高	受注・着工				企業 建設業 倒産 件数	雇用				
		建設 工事 出来高	公共機関 受注	新設 住宅	民間非 居住用 建築物		民間等 受注 (土木・機械)	建設技能 労働者不足率		有効求人 倍率	
								(6職種計・原数値)	(5月)	(季調済)	(5月)
地域	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	%	前年差	倍	前月差	
北海道	17.1	0.5	40.9	45.4	68.9	32.7	3.2	2.9	0.31	0.01	
東北	7.6	12.3	18.7	48.3	36.4	31.7	3.1	0.4	0.33	0.01	
関東	2.7	16.5	30.3	43.4	3.9	34.8	3.3	1.2	0.48	0.05	
北陸	4.2	129.8	16.0	36.5	29.3	5.1	4.6	3.3	0.47	0.02	
中部	5.4	25.2	37.0	47.2	47.1	7.5	2.4	1.2	0.45	0.03	
近畿	3.6	7.2	34.9	48.3	29.1	36.1	7.1	5.0	0.47	0.03	
中国	4.5	40.3	17.8	52.5	41.1	46.5	1.1	0.3	0.55	0.01	
四国	8.0	8.2	32.6	8.7	16.5	7.7	4.6	3.5	0.55	0.02	
九州	0.6	31.3	39.0	35.2	13.9	4.2	0.9	0.7	0.40	0.02	
沖縄		48.5	21.2	60.7	11.1	0.0	1.0	0.3	0.27	0.00	
全国	2.2	24.9	31.6	44.4	12.2	8.7	3.2	1.6	0.44	0.02	

資料：国土交通省「建設総合統計」、「建設工事受注動態統計」、「建築着工統計」、「建設労働需給調査」、
帝国データバンク「全国企業倒産集計」、厚生労働省「職業安定業務統計」

注) 建設工事出来高の「九州」欄は、沖縄を含む値となっている。
建設技能労働者不足率は、プラスは不足、マイナスは過剰を意味する。
雇用に関する指標の前年差、前月差の単位は、ポイント。